**令和５年度　多摩市立多摩永山中学校　　授業改善推進プラン　　教科名**

保健体育

|  |  |
| --- | --- |
| **保健体育科における指導の重点（身に付けさせたい力）　※学習指導要領に照らし合わせて** | |
| ア　知識及び技能 | イ　思考力、判断力、表現力等 |
| 各種の運動の特性に応じた技能等及び個人生活における健康・安全について理解し、基本的な技能を身に付けること。 | 運動や健康についての自他の課題を発見し、合理的な解決に向けて思考・判断し、他者に伝える力を養うこと。 |

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
|  | 生徒の学力の状況（課題） | 授業における具体的な手だて | 手だての実施時期 | 成果検証（２月） |
| 第１学年 | ・運動が得意な生徒と不得意な生徒の差が大きく、技能の取得に差が見られた。ア  ・自身の動きを客観的に捉え、課題を解決するための練習方法を考えることに、課題が見られた。  イ | ・生徒同士で教え合う活動を増やしながら、体の使い方を含めて指導をする。  ・ICT機器を活用し、自身の体の使い方を見て課題解決の方法を探る指導をする。 | 通年で行う。 |  |
| 第２学年 | ・全体的に持久力や柔軟性が低い。関節の可動域が小さい傾向がある。持続的にかつﾀﾞｲﾅﾐｯｸに動くことができず、運動に対する苦手意識が強い傾向がある。ア  ・自身の生活と照らし合わせて、課題を発見することに課題が見られた。イ | ・授業の初めに動的ｽﾄﾚｯﾁと5分間走、授業の終わりに静的ｽﾄﾚｯﾁを継続させる。運動の基礎・基本を無理なく繰り返す中で運動に対する自信を付けさせる。  ・授業はじめ、授業終わりに課題及び自身の考えを表現する活動を取り入れる。 | 通年で行う。 |  |
| 第３学年 | ・体力不足、運動不足からのけががある。ア  ・種目によって得意、不得意が激しい傾向がある。不得意だと感じると始めからあきらめてしまうこともある。イ | ・体力の向上を意識した運動を継続していく。持久力を向上させ、疲れにくい体と心を身に付けさせる。  ・自身やチームの課題を見つけ、工夫し、挑戦していく楽しさを繰り返し経験させる。 | 通年で行う。 |  |

|  |  |
| --- | --- |
| **■「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実に向けた一人一台端末等ICTの効果的な活用について** | **■学習の見通しをもたせることや学習を振り返ることの工夫等、「学び**  **に向かう力」の育成に向けた取組について** |
| **1年　写真や動画機能を用いて記録を残す。【重点：個別】**  **自ら画像や動画を収集し、それを基に練習方法を考え、実践する**  **【重点：個別、協働】**  **2年　インターネットを活用し、情報収集を行い、付箋機能を活用**  **（書き出し）【重点：個別】** | **１年　単元ごとに目標設定、振り返り活動を行う。**  **２年　ワークシートを活用して、自身の生活と照らし合わせた毎時間の振り返**  **り。** |